

平成 29 年度

宮 田 村 教 育 委 員 会 2 月 定 例 会 々 議 録

1 開催日時：平成 30 年 2 月 23 日(金) 13：30～15：00

2 開催場所：村民会館 第 1 研修室

3 出席委員

- (1) 長嶋 良子 教育長（以下「教育長」と表記。）
- (2) 篠田 秀児 委員長職務代理者（以下「職務代理」と表記。）
- (3) 鷹野 綾子 委員（以下「鷹野委員」と表記。）
- (4) 古藤 祐巳子 委員（以下「古藤委員」と表記。）
- (5) 伊藤 一幸 委員（以下「伊藤委員」と表記。）

4 欠席委員：なし

5 その他、会議に出席した者の氏名

- (1) 本田 秀樹 教育次長（以下「次長」と表記。）
- (2) 北原 敦 学校係長（以下「学校係長」と表記。）
- (3) 平澤 義章 子育て支援係長（以下「子育て係長」と表記。）
- (4) 本田 留美 生涯学習係長（以下「生涯係長」と表記。）

6 教育長あいさつ

教 育 長：あいさつに代えて報告

・次年度の小中の学級編成と人事について

小学校は各学年 3 学級。2 年は 71 名で 3 学級ギリギリ。特別支援学級知障学級 2 クラス、自情障 29 名 4 クラスは今のまま。

中学校は各学年 3 学級。知障・自情障各 1 クラスずつ。

管理職職員の人事は次回の定例会で報告する。

調理員の人事は異動を研修の一つと考え、本年度からすべてを経験してもらうことにする。

・働き方改革について

宮田独自の業務改善方針計画を紹介。働き方改革推進のための基本方針について説明。コミュニティスクール(CS)の導入で学校支援を強化し先生の多忙感を軽減する。18 学級以上の小中学校にはスクール・サポート・スタッフが国から配置される。小学校で印刷や事務仕事を手伝ってくれる人を探す。お盆は閉庁する。部活指導員については、新校長の意向を聞きながら協力する。

・給食米飯のすすめについて

村長から給食米飯週 4 日の意見が出たが、調理員・栄養士と懇談の結果、諸事情も勘案して少しずつ米飯に移行していくことにした。

- ・子どもの健康状態について
小中共に歯肉の状態が非常に悪い。
- ・オリンピック関係について
小平奈緒さんがスケートの基礎を宮田村で学んだことをアピールしたい。ふれあい広場に新谷志保美さんと併せ PR できるものを考えている。
- ・東京のとある方から本 250 冊が寄贈されたので小中の卒業生に贈呈したい。

7 会議録承認 1 月定例会 (事前配布)

8 議 題

(1) 議 事

第 1 号 準要保護児童の認定について (追加)

次 長：説明

委 員：承認

(2) 報 告

報告 1 号 教育委員会活動報告について 1～2 月 (2 ページ)

子育係長：資料について説明

委 員：了解

報告 2 号 3 月議会条例補正予算について (3～16 ページ)

次 長：資料について説明

伊藤委員：学校支援実行委員会設置要綱を廃止するなら新旧を提示してほしい。

- ・運営委員会団体の順番は本来どうあるべきか考えて順番付けるべき。
- ・支援実行委員会は年に何回やっていたのか。今後は何回開催し、何を決めるのか。

学校係長：支援実行委員会は年 2 回、CS も 2 回実施する。主に報告と方針について話し合う。

- ・CS の事業は各支援グループで部会的なものを開き、コーディネーターが部会をつなぐ。

古藤委員：CS は大事なので、話を聞くだけでなく教育委員みんなに関わりたい。

次 長：第 3 条では人数を謳っていないので教育委員の皆さんに入ってもらえる。運営委員会では評価もする。

伊藤委員：評価は監査委員みたいな人がやればいい。執行機関なのか評価機関なのか、組織が変わるときにいろいろ変えるのは良くない。

学校係長：学校支援実行委員会設置要綱を廃止したが内容はあまり変えていない。学校と地域の連携があまりなかったため、支援事業の方針と学校と地域の要望と成果の検証をし、一方通行にならないようにするのが改正の大きな理由。

伊藤委員：委員長は荷が重いと思うが、村としては誰を考えているのか。互選でいいのか。引き受けてもらえるのか。候補がいるならやっていただき、できないなら教育委員がやらざるを得ないというのが良いのではないかと

教育長：委員長には学校支援ボランティアの方を考えているが、候補者に打診し荷が重いようだったら教育委員のどなたかに長をお願いしたい。3/15 までにははっきりさせる。委員の順番は今の結果を待って決めたい

子育て係長：遊ゆう広場の料金が村内外で違ってしたが、他市町村同様に無料にする。

生涯係長：公園条例改正について。リバーランド天竜公園は3月いっぱい中部電力に返却し改正後は廃止となる。

- ・多目的研修集会施設文化会館の名称の変更について。長い名前だったが、文化会館という名が広く浸透しているので短くし、合わせて付則も変える。
- ・体育施設の管理に関する規則について。つつじが丘グラウンド、テニスコートの実態に合わせて、使用時間と期間を実情に合わせて改正する。

子育て係長：子ども室関係補正予算について資料により説明。

学校係長：学校教育関係補正予算について資料により説明。

委員：了解。

報告3号 子育て支援窓口一本化について (17 ページ)

子育て係長：老人福祉センター脇に事務室を増築し、子育て支援係が入る。役場から児童手当、児童福祉手当の業務も来る。6月完成予定。現況は2台分の駐車場で、地下に灯油タンクがある。駐車場の工事も同時に進める。

教育長：老人だけでなく小さいお子さんも含めての1本の窓口になるので建物名も変える。よろしいですか。

委員：了解。

8 その他

(1) 当面の日程について 2~3月 (18 ページ)

次長：資料について説明

鷹野委員：中学の部活について。土曜塾のサタデーシンガーズは中学生も入れるのか。中学では部活を増やせないが、他に入りたい部活がなければ帰宅部になる。

- ・HPについて。HPが新しくなったが、『子育て5カ条』が探しにくい。
- ・日本福祉大に推薦した生徒はどうなったか。

学校係長：土曜塾には中学生も入れる。

子育て係長：HPは担当に伝えておく。推薦入学の生徒は合格した。

伊藤委員：クラス編成について。2年生は71人で3クラス。クラス数が変わる可能性はないか？

教育長：5月までに減るとクラス数が減る。学校ではクラス替えの案も作ってある。

伊藤委員：小中学校の歯肉炎について。県平均の5倍と数字が大きいのは学校医が丁寧に見たか

らではないのか。

学校係長：現実的に悪い。

古藤委員：うちの子も歯肉炎の連絡をもらったが虫歯以外にチェックする機会があのはいいと思う。歯は健康になる。

教育長：寄贈の本について。子どもたちに贈ってくださいと本を250冊いただいたので配りたい。禅の言葉が紹介されていて大人でも勉強になる。

伊藤委員：小学生はいいと思うが中学生はどうか。幼稚だと馬鹿にする子もいるのではないか。

古藤委員：今文字離れしているので中学生でも見やすく問題ないと思う。渡すときにいただいたこと、禅の言葉が書いてあることを伝えてはどうか。親に渡すのもいいかもしれない。

教育長：校長会で意見を聞きながら検討したい。以上でよろしいですか。

委員：了解。

教育長：本日はありがとうございました。

・次回定例会：3月15日(木) 13時30分 村民会館 第1研修室